

## ごあいさつ

皆様方には、平素から大同信用組合をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成27年度の我が国の経済情勢は、いわゆるアベノミクス効果等もあって、雇用や所得環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移していましたが、新興国経済の減速や年初からの円高・株安などによる停滞感から、景気はやや足踏みの状況となりました。

このような状況の中、平成27年度の預積金は、各種のキャンペーン定期等を中心に預金の増強に努めた結果、前期末残高を大幅に上回る実績となりました。

一方、貸出金は、マイナス金利の導入などにより他行間競合が激化したものの、融資戦略チーム等による本支店間の連携を強化するなど、積極的な貸出推進に努めた結果、預積金同様、大幅な増加となりました。

収支については、他行による低金利の肩代わり攻勢や余資運用利回りの低下等による減収要因もありましたが、積極的な貸出推進による利息収入の増加等が寄与して、当期純利益は過去最高を更新し、自己資本総額も300億円を超えるなど前年度以上の高い水準を確保し、財務の健全性を強化することができました。

このところの我が国経済は、経済に重点をおいた安倍政権の施策への期待感などから大企業を中心に改善傾向にあるものの、中小零細事業者等においては、人手不足による人件費の上昇や原材料費の高騰などもあって未だ景気回復の実感は乏しく、引き続き厳しい経営を強いられるものと思料されます。

このような中、当組合は、地域密着型金融機関の使命として地域との共生を基本方針に掲げ、主要取引先である中小零細事業者等に対し、取引先ごとの木目の細かい対応を徹底するなど、コンサルティング機能の更なる発揮により円滑な資金供給に努めてまいります。また、中小企業金融円滑化法の期限は到来しましたがこれまでと同様に顧客支援を継続していく方針であり、地方創生への取り組みと併せて地域経済の担い手としての役割を果たしてまいります。

今後とも健全な事業運営と財務基盤の確立に努めていく所存でございますので、引き続きご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



理事長 石川泰旦

# Top Message